

労福協

労福協だより

2011 春号

(社)静岡県労働者福祉協議会

お見舞い

3月11日に発生した東日本大震災により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災された皆さんの一日も早い復興を切に願っております。

平成 23 年 3 月 14 日
(社)静岡県労働者福祉協議会

労働金庫協会発刊の小冊子

「マネートラブルにかっ」、
県内でも自治体版発行へ



住まいと暮らしの
「防災・保障点検運動」展開中

だから「ろうきん・全労済」
なんですネ!!

LSC 活動報告と今後の予定
書き損じハガキください

川柳入選作品きまる

地域・地区労福協活動紹介

- 新春のつどい……………伊東・熱海地区
- 親子ふれ愛のつどい……………榛南地区
- 自主福祉運動の学習会 ……小笠南地区

LW Valentine
Light up Party 婚活パーティー
大盛況!





日弁連会長の宇都宮健児弁護士から推薦を受ける勝又氏



消費者問題啓発冊子
左は南伊豆町で発行された版です

労働金庫協会発刊の小冊子

「マネートラブルにかつ!」、 県内でも自治体版発行へ!

昨年度、静岡県労福協は静岡県に対し「地方消費者行政活性化」を要請項目の筆頭に掲げました。特に「**地方消費者行政活性化基金**」(注1)の活用方法については、具体的な提言を行い、県と話し合いをしてきました。

昨年度、静岡県労福協が関わり前進したものが二つあります。一つは消費者問題ネットワークしずおか(構成団体:労福協・連合・県生協連・労金・全労済・司法書士会等、会長色川静大教授)が静岡県から事業受託をし、消費生活専門相談員試験対策講座と入門講座を県内7ヶ所で行ってきたことです。二つ目は労働組合等におなじみの**小冊子「マネートラブルにかつ!」**(注2)を自治体版に改訂・提供し、消費者問題の啓発活動として、市町を通じて全家庭に配布をしていくという運動です。



中日新聞本社の取材を受けた勝又氏

昨年11月の静岡県労協幹事会で提起し、地域、地区労福協が各市町に働きかけをしました。予算処置で困難な面がありました。平成22年度内に**焼津市**と**南伊豆町**(注3)が発行を決定するに至りました。活性化基金を使った市町版の「マネートラブルにかつ!」の発行は、全国の中でも初めてのこととなりました。今年度はできるだけ多くの県内市町に拡大し、中央労福協を通じて、静岡発全国展開をしていきたいと思っています。

注1:地方消費者行政活性化基金

〔平成23年度末までに執行(一部平成24年度末まで可)〕
活用にあたり、県は消費者行政活性化計画、市町村は市町村プログラムを作成、計画的に消費者行政の活性化に取り組む。計画期間中はこの計画に基づき、各地方公共団体において消費者行政の活性化が取り組まれる。基金の総額は260億円、静岡県への交付金額6億円に県が3億3千万上乗せし9億3千万円の基金となっている。

注2:小冊子「マネートラブルにかつ!」

2005年に全国労金協会が発行した消費者問題啓発冊子、第三改訂版の現在まで推定150万部発行。
著作:監修 勝又長生(静岡県労協契約消費生活コンサルタント、元労金職員)

注3:小冊子(南伊豆町版)の改訂点

1ページ:タイトルに「消費者問題対処法」の追加および「南伊豆町」の名があります。
3ページ:南伊豆町「鈴木史鶴哉町長」から町民の皆様へのメッセージがあります。
28ページ:南伊豆町の皆さんが相談できる「各種相談窓口」について掲載されています。
30ページ:企画・協力の欄に「賀茂地区労働者福祉協議会」の名があります。

住まいと暮らしの 「防災・保障点検運動」展開中!!

《組合員の皆さまと ご家族の 生活再建のために》

全労済静岡県本部では、現在「住まいと暮らしの防災・保障点検運動」を展開しています。

組合員とご家族が、災害に対して

「備える・守る・再建する」の3つの視点で点検いた

だき、その結果にもとづいて具体的な生活再建策を実践していただく活動です。

この運動の背景には、上の表のように生命保障や医療保障、自動車関連保障分野に

比べ、住宅関連保障の普及率はきわめて低い

ことがあります。住宅・家財・地震等の保障は皆さまの「住まい

と暮らし」の基本保障

にもかかわらず、場合

によっては気づかないうちに「無保障もしくは保障が不

十分な状態」になっている危険性があります。



「私からはじめる」
防災Q保障点検運動

によつては気づかないうちに「無保障もしくは保障が不十分な状態」になっている危険性があります。

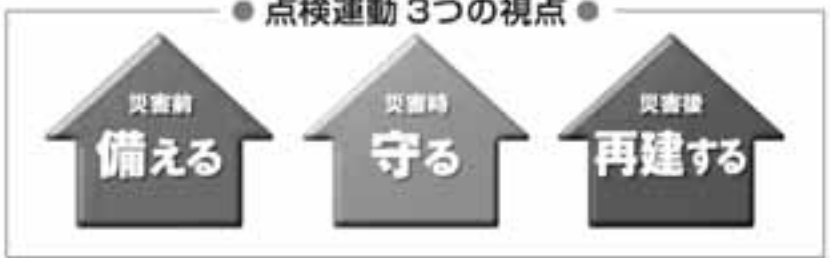
〈3つの視点〉とは、
「**災害前に備える**」:自ら火災などを起こさないように気をつけたり、地震に備えて家具の固定など室内の安全対策をしておく必要があります。

「**災害時に守る**」:災害時に起こる状況を想定して、火災や風水害など、事象ごとに身を守る行動を考えておく必要があります。

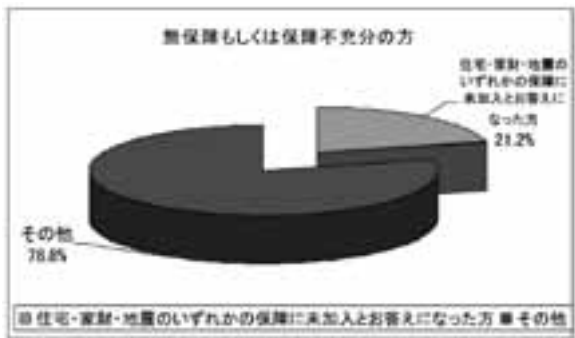
「**災害後に再建する**」:被災後1日でも早く生活を立て直すために、今の保障などがどこまであたたやご家族を助けてくれるか確認しておく必要があります。

阪神淡路大震災やその後の災害では、まず生命の安全確保を第一に、さらに被災後の住居確保(住宅再建)

●点検運動3つの視点●



東海地震などが予測されている県内ですが、意外にも保障が不十分な実態が判つてきました。



無保障で大丈夫? 今からでも備えよう!!

全労済では、この取り組みを通じて、住宅・家財・地震保障の未加入者の解消と、防災対策、災害発生時対策の向上をすすめています。労福協でもこの取り組みに賛同し、支援しています。

(お問合せは全労済静岡県本部にどうぞ)

〔054・254・1180〕

バレンタイン ライトアップパーティー 大盛況!

LWサポート『バレンタイン・ライトアップパーティー』は、当初予定の2倍を超える応募をいただき抽選で選ばれた方達が、2月5日の静岡会場151名、2月12日の浜松会場311名と沼津会場256名、合計716名の参加をいただき大盛況の内に開催することができました。

本事業は静岡県の補助事業「静岡県育ててよし、ふじのくに民間チャレンジ応援事業」として実施されました。これまで少子化対策に対する県の支援は「子育て」に限られており、未婚者に対する婚活事業への補助は新たな大切な第一歩と呼べるものではないかと考えております。

ゲストに假屋崎省吾さんと桂由美さんのトーク・交流をいただいたこともあり、各会場とも初対面の方々の交流会とは思えぬ和気藹々とした雰囲気の中、終了時には立ち去りがたい人々でいつまでも賑わっていました。また当日成立したカップルは37組、それ以外にもペアで話し込んだり親密にアドレスを交換する姿が数多く見受けられ、仲良く肩を並べて会場を後にするカップル達を見ていると…この中から幸せなカップルが生まれることは間違いないような気がいたしました。

参加者の皆さんの笑顔と前向きな姿に触れ、このような機会と場の必要性を痛感するとともに、一回限りのイベントではなく安定的な出会いの場として提供して行くことが少子化対策への一つのアプローチとして大きな意義を持つものと確信することができました。

今企画の成功の源は、静岡県の補助事業であり共催団体が連合静岡・労福協・経営者協会等の信頼性に支えられ、参加者から「安心・安全」と評価をいただいたからと考えております。この実績を元にライトアップパーティーの定期的な開催とより良い交流機会の創造を目指し、頑張ってまいりたいと考えておりますので、今後ともご支援くださいますようお願い申し上げます。

(NPO法人LWサポート 理事長 志垣恭平)

【事業の概要】

■事業名:LWバレンタイン ライトアップパーティー

■会場:2/5 ホテルシティオ静岡
2/12 ホテル沼津東急
2/12 グランドエクシブ浜名湖

■目的:未婚者の出会い機会の創造、結婚に対する前向きな空気の醸成

■主催:NPO法人LWサポート

■共催:連合静岡、(社)静岡県経営者協会、(社)静岡県労働者福祉協議会、NPO法人地域活性化支援センター

■ゲスト:假屋崎省吾さん、桂 由美さん(トーク&交流)

*LWサポートとは:静岡県経営者協会、連合静岡、静岡県労働者福祉協議会、NPO法人地域活性化支援センターが、それぞれの立脚点の相違を越えて、ワークライフバランスへの取り組みを通じた少子化対策に貢献すべく、労使協働による円滑な活動を目的として、NPO法人LWサポートを2008年8月1日設立いたしました。情報誌「LWマガジン」発行事業、福利厚生用「LWカード」発行事業、交流イベント「ライトアップパーティー」開催事業、各種セミナーの企画運営事業などを行っています。



使用されたテキスト



東部分散会の様子



西部会場主催者挨拶

だから
「ろうきん・全労済」
なんですネ!!

労働組合役員になつて原則3年未満の方を対象にした「地域セミナー」(ALWF:福祉基金協会主催)が県下3ヶ所(2/1沼津2/4浜松2/15静岡)で開催されました。

メイン講義は、午前中の労働者福祉運動の歴史と県内の取組みなどを学びます。

「ろうきん」や「全労済」が生まれた時代背景、相互扶助の理念や意義、先人達の思いや軌道に乗せるまでの苦労話、勤労者の暮らしや福祉にベクトルを合わせた数々の事業や運動について歴史を学びます。

午後は、労福協・ろうきん・全労済からの報告・講義の後に分散会となります。分散会では参加者の事業所宣伝などで場が和んだ後、「学んだことを組合員にどうやって伝えるか、知ってもらふことの大切さ・難しさ」などが熱心に話し合われました。

セミナー終了後には懇親会もあり、自分の職場以外の役員と話す機会が少ない人にとっては異業種の交流の場となっています。多少のお酒も入り横の繋がりが図れることも地域セミナーの良い点ですね。



中部会場 山本講師



西部 ろうきん 石貝講師



東部 全労済 金岡講師

今回、参加いただいたのは計134名です。皆さんからのアンケートのごく一部を紹介させていただきます。

【参加者の声】(アンケートより)

○色々な単組の情報交換ができてよかったです。今後も執行委員等の経験の少ない人への教育、交流の場をつくっていただけたら良いと思います。

○自主福祉運動の歴史から生い立ちの理解も深まったため、知識を活かすつ組合の取組みへ繋がっていきます。

○外部の労組との交流の機会があまりなく、本日は各労組の活動状況に大きな差があることに驚き、大変参考になりました。

○自主福祉運動の必要性・重要性を痛感しました。労福協・ろうきん・全労済ともに多くの知識を得ることが出来たと思います。

○「ひとり」は万人のために、万人はひとりのために「このスローガンで活動していることを伝えたい。」

労福協って なあ～に！パート19



注釈：L.W.は、Labor's Welfare（勤労者福祉）の略です

県内のボランティアに
関する広報・啓
発、相談・支
援、調査・研
究、学びの場
づくりなど
様々な活動
を行っている「静岡県ボランティア協
会」では、同協会の活動資金の一部と
して役立てるため、書き損じハガキ
を募集しています。

静岡県労福協では、今年もこの取
組みに協力しようと、書き損じハガ
キの提供を関係団体の皆さんに呼
びかけています。

皆さんの事業者やご家庭でも、引き
出しの隅に眠っているハガキを見つ
けたら、静岡県労福協に送っていただ
くとすごく嬉しいですよ。集まったハガ
キは静岡県労福協で責任を持つて
「県ボランティア協会」にお届けし役
立てさせていただきます。

《欲しいハガキは》
書き損じたハガキ、
年賀ハガキやかも
めーるなど未使用
のハガキを集めています。

《集ったハガキの活用は》
県ボランティア協会では、皆さんから
いただいたハガキを郵便局で切手や
葉書に交換し、ボランティア活動の
連絡・情報提供などに活用します。

《送付先は》
〒420-0851 静岡県葵区黒金町5-1
県勤労者総合会館4F
(社)静岡県労働者福祉協議会 宛

川柳 入選作品きまる



川柳表彰式

川柳募集も回を重ねて6回目と
なり応募数も年々増加、今回は16
0句の投句をいただきました。五・七・
五の十七音字で想いを表現する楽し
さが益々市民に広がっている証かと思
います。審査員を唸らせた佳句の中
から25句が選ばれました。その内、2
句をご紹介します。

最優秀賞
泥はねを
まともに貰う 松葉杖
棚池 元子 様

（講評）
雨上がりの晴天にリハビリですか。慣
れぬ足取りの松葉杖、偶然あつた水
溜りに失礼な車、避ける間もなく、ま
ともに泥はねを食らう、わざわざ貰
うと詠んだところが句を柔らかくし
ました。松葉杖にさよならできるとい
いですね。

優秀賞
再仕分け
僕の小さい妻はねる
高野 邦彦 様

（講評）
いま仕分けがブーム、再仕分けとは厳
しい現実、対象が小使いに向けられる
のも仕方ない諦め、それを明るく詠
んだ作者見事、再仕分けの固さを
「妻はねる」で川柳っぽい句に仕上が
りました。元気な妻でよかったですね。

LSC ライフサポートセンターしずおか 活動紹介

暮らし 何でも 相談から

相談の上位を占める消費生活相談。その中でも人の欲や弱みにつけこむ悪質商法は、新たな
手口が発生し巧妙化しています。今回は、2月に行われた静岡県労働金庫主催の『それって詐欺
よ! みんなに教えたくなる自己防衛術』(企画運営:LSC)で紹介された悪質商法の例をいくつかあ
げてみました。

- 息子と称して父親に「交通事故にあった。外で会いたい」と電話し、外出したすきに空き巣に入る。
- 「インフルエンザにかかったので声がおかしくなっているが」と電話でいったん相手を信用させ、再度電話し、保証人になったので300万円必要と頼み込む。
- 投資話で一度被害にあった人に対し「損害金を取り返してあげます」とか「弁護団が結成されたから」と話を持ちかけ弁護士代などを詐取する(二次被害)。
- 訪問販売は、洗濯物やタタの家の明かりの付き方で家族構成や人数を判断し高齢者宅などを狙ったり、若夫婦が出て行くのを待ち訪問することもある。
- 押し売り。気がつくの高いみかんを大量に買わされていたり、マグロを勝手に切り分けられ断ると脅された。

悪質商法は、高齢者に限らず年齢層に応じて各パターンがあり、「私は大丈夫」と思っている人
が意外に引っかかりやすいそうです。心配な時や困った時は、最寄りの消費生活センターへご
相談下さい。

今からはじめる古い支度

これからの生活に役立つ情報として、セカンドライフ、相続遺言、介護看取り、葬儀墓等の各専門家が
詳しくお話しします。年代問わずご参加いただけるセミナーです。3会場各4回の連続講座です。

★ 第1回目 セカンドライフを生きる 田部井 淳子氏

明るく元気にまだまだこれから! ～世界の山々をめざして～

登山家。日本トレッキング協会会長。1975年、エベレスト日本女子登山隊 副隊長兼登攀隊長と
して、世界最高峰エベレストに女性世界初の登頂に成功、92年には、女性で世界初の7大陸最
高峰登頂者となる。現在も年数回海外登山に出掛け、現在59カ国の最高峰・最高地点を登頂。
内閣総理大臣賞など受賞多数。



小林久晃氏(司法書士)：相続と遺言

2回目以降の 講師と演題

内藤いづみ氏(甲府市ふじ内科クリニック院長)：最高に幸せな生き方と死のむかえ方

井上治代氏(東洋大学教授)：今、葬送分野に何が起こっているか?(現代葬儀・お墓事情)

高橋卓志氏(松本市神宮寺住職)：いのちと向き合う

会場と 開催日

静岡県労政会館 ①6/1 田部井淳子氏 ②6/15 小林久晃氏 ③6/28 内藤いづみ氏 ④7/13 井上治代氏
沼津労政会館 ①9/7 田部井淳子氏 ②9/21 小林久晃氏 ③10/26 井上治代氏 ④11/15 高橋卓志氏
浜松労政会館 ①10/22 田部井淳子氏 ②10/29 小林久晃氏 ③11/16 高橋卓志氏 ④11/23 井上治代氏

各会場共 ●時間：13:00～15:00 ●定員：各回80名 ●参加費：各回500円
※申込方法等は決まり次第、LSCホームページにてご案内します

Seminar

脳いきいき講座
なぜなるどうする認知症 (浜松)7/24・9/25・12/18 (磐田)8/28・11/20・2012/1/22

Advice

無料法律相談会 ●8/22 静岡 ●9/15 伊豆 ●12/21静岡 ●2012/3/14 浜松